

2007年度情報化リーダー育成研修会(CIO 育成研修会) in 埼玉 特集

経済産業省、(独)情報処理推進機構 (社)日本情報システムユーザー協会からの受託事業である2007年度情報化リーダー育成研修会(CIO育成研修会)in埼玉(開催場所:埼玉会館)を7社9名の参加にて、11月17日(土)24日(土)12月1日(土)8日(土)実施しました。

(狙い)

中小企業における有効なIT活用は、その成功事例を見ると次の3点が重要なポイントと成っています。(1)経営者の強い意志があること、(2)経営者の意志を受けて社内に浸透させIT活用を推進できるリーダーがいること、(3)それらを支えるパートナーが形成できることです。この研修会は、そのうちの1つである情報化リーダー(CIO)の育成を行なうものであり経営者と一緒になって「経営戦略策定」を行い、「IT戦略企画書」をまとめ、その企画のアクションプランに基づき、新システムの設計、資源調達、開発から運用におけるプロジェクト管理等が遂行できる能力を持った人材の育成を目指しています。

そのために、経済産業省・関東経済局の「中小企業等IT経営実践促進事業(関東地域)」と連携し、対象地域の商工会議所・商工会と一体となって、「経営革新」および「IT経営」を必要とする企業経営者に当研修会への参加を呼びかけました。

また、参加企業がITコーディネータ(ITC)に対する信頼感を高め、その支援を得て積極的にIT経営に取り組もうとするマインドを醸成し、地域行政機関、中小企業支援団体、金融機関、地域ベンダーと連携して、参加企業を自立的継続的に支援し、地域産業の競争力向上と発展に貢献することを主な狙いとししました。と同時に、NPO 埼玉 ITC は、育成した情報化リーダーと連携して、中小企業のIT経営の実現を効率的に支援することを大きな目的にしております。

(現状・背景等)

参加企業7社(9名)の内訳は、製造販売業3社、サービス業3社、卸小売業1社となっており、規模も数名から300名以上までと多岐に亘って、IT関連の経験も豊富な方とまったく経験のない方まで幅広い構成となりました。このような背景のもとでの実施となりましたが、特にグループ演習においては、チームバランスが取れており、協力体制や補完関係が醸造でき良い結果となりました。また、異業種交流ができてよかったという声もありました。

(成果)

1. 実現した成果

- (1) 参加者にとって、多くの収穫となりました。経験者(特に情報部門の当事者)は自社での課題の再認識が出来たこと、自社のIT化が経営のどの部分と結びついているのか、その原点の認識を新たに出来たこと。また、ほとんどITに関わっていない人は、ITをうまく使うには、企業の経営戦略が重要であり、ITの活用の進め方の手順が理解できたこと。
- (2) 「自社の企画書」が作成でき、発表したこと。全ての参加企業(7社)での、自社の「経営戦略企画書」と「IT戦略企画書」を作成しました。進め方もSWOT分析手法やIT成熟度診断等を取り入れた手法の理解と活用を実践しました。ケース研修で得た知識を研修の結果として実践したことの成果は大きいと思います。
- (3) 参加者同士の交流が図られたこと。異業種の方々の参加で、研修会も大半はグループ演習の形で進めたこともあり、参加者同志の意見交換や相互の理解が図られて、自己の参考となりました。
- (4) NPO 埼玉 ITC にとっての成果は、今後のITCによるフォローを希望する企業が4社あったこと。また、最終日の発表は自社の企画書の内容であり、企業の紹介も含めて時間も十分設定した為、各社の内容や課題の把握が行なえました。次のフォローに向けての大きな成果であります。

2. 期待される成果

短期間の研修会であり、この期間の成果をどう自社において展開できるかがポイントであります。つまり、企業をどう導いていくのかの経営戦略が立てられるかが一番重要であり、その結果一つの手段としてのIT化があるのだ、ということ。また、情報化リーダーとしては、その経営戦略に沿って、IT活用が最大効果に成る戦略を立案し実行することです。具体的には、社長を含むトップとの意志あわせ、社内を把握してIT活用力を高める努力、経営方針に沿ったIT効果の発揮などを推進していってほしいと期待しております。

